

月 日	名前	点
--------	----	---

2 - A 『罰金算』

(1) ある計算テストは全部で25問あります。正しく解けた問題は4点、まちがえた問題は1点引かれます。さやかさんの合計点は85点でした。まちがえたのは □ 問です。

3

(2) 30問の社会のテストがあります。正解すれば8点、まちがえると4点減点されます。けんじ君はこのテストで192点でした。正解は □ 問です。

26

(3) 箱を運ぶ仕事があります。1箱を無事に運ぶと11円もらえますが、落とすと17円の罰金があります。Gさんは720箱運んで、合計で5,904円の報酬を受け取りました。Gさんが無事に運んだのは □ 箱です。

648

(4) プリントを配る仕事で、正しく配ると13円もらえますが、まちがえると19円の罰金になります。Aさんは540枚配って、5,676円をもらいました。まちがえたのは □ 枚です。

42

月		名前
日		
		点

2 - B 『間の分数』

(1) $\frac{2}{13}$ より大きく、 $\frac{7}{9}$ より小さい、分母が60の分数について、このような分数はいくつありますか。

また、そのうち約分できない分数はいくつありますか。

37, 10

(2) $\frac{2}{13}$ より大きく、 $\frac{7}{9}$ より小さい、分母が36の分数について、このような分数はいくつありますか。

また、そのうち約分できる分数はいくつありますか。

22, 15

(3) $\frac{1}{5}$ より大きく、 $\frac{4}{5}$ より小さい、分子が7の分数について、このような分数はいくつありますか。

また、そのうち約分できない分数はいくつありますか。

26, 23

(4) $\frac{5}{13}$ より大きく、 $\frac{7}{8}$ より小さい、分子が6の分数について、このような分数はいくつありますか。

また、そのうち約分できる分数はいくつありますか。

9, 6

月 日	名前	点
--------	----	---

2 - C 『カードを並べて倍数を作る』

(1) $\{0, 1, 3, 4, 6, 8\}$ の6枚のカードから3枚を選んで並べ、3けたの整数を作ります。このとき9の倍数は \square 通り作れます。

14

(2) $\{0, 2, 3, 4, 6\}$ の5枚のカードから3枚を選んで並べ、3けたの整数を作ります。このとき3の倍数は \square 通り作れます。

20

(3) $\{0, 1, 2, 4, 6\}$ の4枚のカードから3枚を選んで並べ、3けたの整数を作ります。このとき4の倍数は \square 通り作れます。

20

(4) $\{0, 1, 3, 4, 6, 8\}$ の6枚のカードから3枚を選んで並べ、3けたの整数を作ります。このとき4の倍数は \square 通り作れます。【やや難】

38

(5) $\{0, 1, 3, 4, 6, 8\}$ の6枚のカードから3枚を選んで並べ、3けたの整数を作ります。このとき3の倍数は \square 通り作れます。【やや難】

36

月	名前	
日		点

2 - D 『徒競走』

(1) AさんとBさんが90mの徒競走をしました。2人は同時にスタートし、Aさんは15秒で、Bさんは18秒でゴールしました。Aさんがゴールしたとき、Bさんはゴールまであと□メートルの地点にいました。

15

(2) CさんとDさんが180mの徒競走をしました。同時にスタートし、Cさんは20秒で、Dさんは25秒でゴールしました。Cさんがゴールしたとき、Dさんはゴールまであと□メートルの地点にいました。

36

(2) EさんとFさんが180mの徒競走をしました。Eさんは180mを20秒、Fさんは180mを24秒で走ります。2人が同時にゴールするには、EさんはFさんより何m後ろからスタートすればよいですか。

36

(4) GさんとHさんが150mの徒競走をしました。Gさんは150mを24秒、Hさんは150mを30秒で走ります。2人が同時にゴールするには、GさんはHさんより何m後ろからスタートすればよいですか。

37.5

(5) Aさんは96mを12秒、Bさんは96mを16秒で走ります。この2人が100m競争をするとき、2人が同時にゴールするには、Bさんはスタート地点より□m前からスタートすればよい。

25

(6) Aさんは96mを12秒、Bさんは96mを16秒で走ります。この2人が100m競争をするとき、2人が同時にゴールするには、Aさんはスタート地点より□m後ろからスタートすればよい。【やや難】

$\frac{100}{3}$

月	名前	
日		
		点

2 — E 『分母と分子の差・和』

(1) 約分すると $\frac{4}{7}$ になる分数で、分母と分子の差が45のものは □ です。

$$\frac{60}{105}$$

(2) 約分すると $\frac{7}{11}$ になる分数で、分母と分子の差が56のものは □ です。

$$\frac{98}{154}$$

(3) 約分すると $\frac{5}{12}$ になる分数で、分母と分子の和が136のものは □ です。

$$\frac{40}{96}$$

(4) 約分すると $\frac{7}{11}$ になる分数で、分母と分子の和が162のものは □ です。

$$\frac{63}{99}$$

(5) 約分すると $\frac{4}{5}$ になる分数で、分母と分子の積が500のものは □ です。【やや難】

$$\frac{20}{25}$$